

第2回 再処理・リサイクル部会 夏期セミナー

テーマ：再処理における基礎・基盤技術（仮）

1. 日時：2018年8月20日（月）－8月21日（火）の2日間

2. 場所：青森原燃テクノロジーセンター

<http://www.agtcinc.co.jp/>

〒039-2664 青森県上北郡東北町字乙供 58 番地

TEL.0175-63-4680（代） FAX.0175-63-4681

3. プログラム

議長：鷹尾 康一郎（東京工業大学准教授）

<1日目>

15:00－15:10 開会挨拶

15:10－15:35 1. 「フッ化物揮発法処理技術の開発」 星野 国義 （日立 GE）

15:35－15:50 討論（1）

15:50－16:15 2. 「溶媒抽出プロセスのシミュレーション」 森田 泰治 （原子力機構）

16:15－16:30 討論（2）

16:30－16:45 休憩

16:45－17:10 3. 「都市大における廃止措置関連教育の試み(仮題)」

佐藤 勇 （東京都市大学）

17:10－17:25 討論（3）

17:25－17:50 4. 「核燃料物質選択的沈殿法を用いた再処理技術開発基盤研究」

鷹尾 康一郎 （東京工業大学）

17:50－18:05 討論（4）

18:05－18:15 休憩・移動

18:15－20:00 夕食・総合討論

20:00－21:00 懇親会

<2日目>

9:00－9:25 5. 「マイナーアクチノイド（MA）回収用抽出クロマトグラフィ技術の開発」

宮崎 康典 （原子力機構）

9:25－9:40 討論（5）

9:40－10:05 6. 「むつ小川原開発区域と原子燃料サイクル施設」 大塔 容弘 （元 日本原燃）

10:05－10:20 討論（6）

10:20－10:35 休憩

10:35－11:00 7. 「六ヶ所再処理工場におけるガラス固化技術の展望」 兼平 憲男 （日本原燃）

11:00－11:15 討論（7）

11:15－11:40 8. 「再処理の重大事故等：セル内において発生する有機溶媒その他の物質による
火災又は爆発に係る安全対策（仮題）」 堀口 亮 （日本原燃）

11:40－11:55 討論（8）

11:55－ 閉会挨拶・写真撮影

午後： 日本原燃見学会（別紙参照、希望者）

4. 定員、参加費と交通

(1) 定員

- 会場の都合で 30 名程度といたします。
- 先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。

(2) 参加費

- 参加費
一般 正会員/シルバー会員：3,000 円（不課税） 非会員：4,000 円（税込）
学生 無料
- 宿泊費 8,000 円（20 日夕食代および 21 日朝食代含む。税込）
※夕食代には懇親会参加費が含まれます。
- 昼食 500 円（21 日ツアー参加者のみ。税込）
- 支払い方法：当日、受付時に現金にてお支払いください。

(3) 交通

- 三沢空港。車 40 分。
- 七戸十和田駅。車 15 分。
- 八戸駅→三沢駅（青い森鉄道 570 円）。車 30 分。
- 八戸駅→乙供駅（青い森鉄道 920 円）。徒歩 20 分。
※日本原燃からの帰りの移動手段は参加人数、行き先に応じて決定します。

5. 参加申し込み及び問い合わせ

- 下記の項目を明記し、E-mail でお申し込みください。
 - ①氏名
 - ②所属
 - ③会員区分（正会員・学生会員・シルバー会員・非会員・学生非会員）
 - ④会員番号（会員の方のみ）
 - ⑤連絡先（申込み後、セミナー開催までの間、連絡が取れる TEL、E-mail）
 - ⑥日本原燃サイト見学ツアーへの参加の有無
（参加される方は、別紙「日本原燃サイト見学ツアーについて」に記載してある情報についても、締め切り日までにご提供ください。）
 - ⑦交通費補助の希望（「6.学生参加者への交通費補助」を参照のこと。）
- 締め切り 8月3日（金）
- 連絡先
岡村 信生
日本原子力研究開発機構
E-mail: okamura.nobuo@jaea.go.jp

6. 学生参加者への交通費補助

- 学生参加者にはセミナー参加にかかる交通費を補助することができます。交通費補助を希望する方は参加申し込み時にご連絡ください。

- 自家用車を利用した場合は、旅費を補助することはできません。
- 補助人数は10名程度、補助額は実費相当額と致します。
ただし、1名あたり8万円を上限とし、応募者数等に応じて変更される可能性があります。

7. CPD プログラムへの参加

日本原子力学会では、原子力に携わる技術者・研究者は、倫理にもとることなく知識、技能、能力を常に高めることにより、原子力の利用に関する社会からの付託に応えなければならないとの考えから、各個人の継続研鑽を奨励するために日本原子力学会教育委員推奨 CPD (Continuing Professional Development) プログラムが推進されています。本セミナーは当プログラムの指定を受けることになっており、学会員の方についてはセミナー終了後に「CPD 受講証明書」が発行されます。

8. 講演者へのお願い

○ 発表形式

発表を円滑に進めるため、基本的に事務局が用意する PC でスライドをプロジェクタに投影します。スライドの電子データは USB メモリーでお持ちください。なお、個人の PC を持ち込んで使用する場合にはその旨御連絡いただければ幸いです。

スライドは PowerPoint で作成してください。一般的なフォントを用いてください。

○ 配付資料

スライドについては、印刷したものを参加者に配布します。配付資料については、発表者が人数分を用意してください（部数は後日連絡させていただきます）。

○ 資料構成

フォーマットはフリーとします。

以上

日本原燃サイト見学ツアーについて

夏期セミナーの青森開催にあわせ、日本原燃㈱の施設を巡るツアーを開催いたします。六ヶ所原燃 PR センター、再処理工場、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター、低レベル放射性廃棄物埋設センターを約 2 時間半で見学するコースです。核燃料サイクルの中核施設を是非この機会にご覧ください。

見学ツアーへ参加を希望される方は、「5. 参加申し込み及び問い合わせ」でご提示頂く情報に加えて、以下の項目についてもご回答をお願いいたします。

- ①氏名のフリガナ
- ②性別
- ③血液型（分かる範囲で RH+/- の情報も）
- ④生年月日
- ⑤国籍及びパスポート No（外国人のみ）
- ⑥所属（会社名、学校名等）・役職（学生は学年）
- ⑦現住所（身分証明証と同一であること）
- ⑧電話番号
- ⑨体重（目安で結構です。）
- ⑩身分証明証の写しの PDF ファイル（運転免許証で住所変更がある場合は裏面も）

これらの情報を基に事前登録をするため、参加申し込みの締め切り日までにご回答いただけない場合は、見学ツアーへの参加ができなくなることもありますのでご注意ください。

ツアーで施設に立ち入るために必要となる身分証明証（⑩の項目）は、以下の通りです。当日、必ず有効期限内の身分証明証の原本をご持参いただけますようお願いいたします。

○運転免許証、パスポート、住民基本台帳カード（写真付）、在留カード、特別永住者証明書、レセパセ（LAISSEZ-PASSER）のうち 1 点

又は

○住民票（6 ヶ月以内）、健康保険証、年金手帳、共済組合証のいずれか 2 点の組み合わせ

< 予定行程（案） >

12:40 テクノロジーセンター発（バス）

13:30 日本原燃着

13:40 見学開始

16:00 見学終了

日本原燃発（バス）

→三沢駅（17:00 ころ）→三沢空港（17:10 ころ）

【参考（2018 年 7 月 2 日時点）】

三沢空港→羽田空港： 19:00 発（JAL158）

三沢駅 →八戸駅： 17:17 発、18:35 発